

| 中期目標 | 中期計画 | 年度計画 | 評価指標(◎大項目、○中項目) | 平成16年度 | | | | 備考 |
|---------------------------------|--|--|--|----------------------------|--|--------|------------------------|-----------|
| | | | | 中項目 | | 大項目 | | |
| | | | | 評価 | ウエイト | ウエイト | 評価及びウエイト | |
| 第2 業務運営の効率化に関する事項 | I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためのべき措置 | I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためのべき措置 | ◎ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためのべき措置 ○ 評価・点検の実施 ○ 研究資源の効率的利用 ○ 研究支援の効率化及び充実・高度化 ○ 連携、協力の促進 ○ 管理事務業務の効率化 ○ 職員の資質向上 ウエイト付けをした評価の計 | A A A A A A | 1.00 0.17 1.00 0.17 1.000 0.090 | A | | |
| 第3 国民に対して提供するサービスの質の向上に関する事項 | II 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置 | II 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置 | ◎ 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置 ○ 試験及び研究並びに調査 ○ 専門研究分野を活かした社会貢献 ○ 成果の公表、普及の促進 ウエイト付けをした評価の計 | A A A | 1.00 0.89 1.00 0.06 0.05 | A | 0.73 | |
| 第4 財務内容の改善に関する事項 | III 予算、収支計画及び資金計画 IV 短期借入金の限度額 V 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 VI 剰余金の使途 | III 予算、収支計画及び資金計画 | ◎ 予算、収支計画及び資金計画 ウエイト付けをした評価の計 | | | B | 0.700 0.09 | |
| 第5 その他業務運営に関する重要事項 | VII その農林水産省令で定める業務運営に関する事項 | IV その他業務運営に関する重要事項 | ◎ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 ◎ 剰余金の使途 ◎ その他業務省令で定める業務運営に関する事項 ○ 施設及び設備に関する計画 ○ 人事に関する計画 ウエイト付けをした評価の計 | | | A A | 0.50 1.000 0.090 | |
| 各項目のウエイト付けをした評価の合計⑤ | | | | 0.973 | | | | |
| 在職月数⑥ | | | | 12 | | | | 計⑦ 12.000 |
| 基本業績動案率 = ⑥×⑤ | | | | 11.676 | | | | 計⑧ 11.676 |
| 基本業績動案率 = (④+⑧) / (③+⑦) | | | | 1.0 | | | | |

独立行政法人国際農林水産業研究センター理事長
 ■■■■■の退職手当の算定に係る業績勘案率

平成17年12月 5日

独立行政法人国際農林水産業研究センター

1. 退職者名：■■■■■
2. 役職：理事長
3. 在任期間：平成15年4月1日就任～平成17年3月31日退職
4. 職務：センターを代表し、熱帯又は亜熱帯に属する地域その他開発途上にある海外の地域における農林水産業に関する技術上の試験及び研究等を行い、これらの地域における農林水産業に関する技術の向上等の業務の総理に関すること。

業績勘案率（案）：1.0

業績勘案率（案）の算定に当たり勘案した事項

| | |
|--------------------|---|
| 基本業績勘案率 | 1.0 |
| 法人業績を勘案して加算する率 | 0.0 【当該率とした理由】 理事長■■■■■の在職期間における年度業務実績評価は、各事業年度とも「A」評価であったが、年度計画に基づき、その計画の範囲内で、効率化を図りつつ業務の改善等を行ってきたものであることから、加算するには至らないと判断し、率を0.0とした。 |
| 個人業績を勘案して加算（減算）する率 | 0.0 【当該率とした理由】 理事長■■■■■は、先進諸国における国際機関で長い歴史と実績を持つフランス国際農業研究開発協力センター（CIRAD）や国際共同研究に力を入れつつある韓国農村振興庁（RDA）を相手とする初めての研究協力協定を締結するとともに、ベトナムでの当センター（JIRCAS）国際共同研究においてCIRADと共同で推進するに至った。また、世界の貧困と飢餓の削減に向けた農林水産分野での国際協力をオールジャパンで推進する体制（独立行政法人、大学、国際協力機構（JICA）、国連食糧農業機関（FAO）、世界銀行、非政府組織（NGO）、民間等の連携）を提唱し、協議会「持続的開発のための農林水産国際研究フォーラム |

(略称：J-FARD)」を発足させ、JIRCAS、J-FARDの主催（JICA、国連大学、FAO日本事務所共催、農林水産省、外務省、国際農業研究協議グループ（CGIAR）後援）による国際シンポジウム「アフリカ農林水産業の生産性向上を支える研究開発の展開方向」をG8サミットに呼応する形で企画した（平成17年7月開催、内外国際機関の長を集めて成功裡に終了）。さらに、CGIAR傘下の国際研究機関との連携・共同研究を強化しつつ、JIRCASの業務である国際農業研究を推進した貢献は甚大なるものがあるとして、CGIAR本部から世界で初めての拠点研究所（Focal Point Institution）にJIRCASは選出・認定され、CGIARのホームページ及びニュースとして世界に発信された。一方で、JIRCASバンコク事務所を東南アジア地域を対象とする地域事務所（JIRCAS東南アジア事務所）に機能強化した。

以上のように、開発途上地域における農林水産業の問題解決をより強力に推進するために、先進諸国の国際研究機関との連携強化を実現し、国際研究機関からの顕彰を受けるとともに、海外地域拠点の強化を果たし、ナショナルセンターとしてJIRCASを牽引・成長させた。

不良環境での農業生産向上のために「不良環境耐性作物開発グループ」を組織化して当該分野の国内研究体制を整えるとともに、人材育成では特別派遣研究員制度を設けて、次世代研究者として期待されるポストドクターを複数選抜し、海外のJIRCAS研究サイトに派遣して人材育成と研究体制強化の両面を果たした。

これらの業績は、年度計画に基づき適切に行われてきたものであり、今回の評価の対象となる期間（平成16年1月～平成17年3月）において加減算するには至らないと判断し0.0とした。

※別添として、業績勘案率（案）の算定の参考となる資料を添付する。

独立行政法人国際農林水産業研究センター監事
 ■■■■■の退職手当の算定に係る業績勘案率

平成17年12月 5日

独立行政法人国際農林水産業研究センター

1. 退職者名：■■■■■
2. 役 職：監事
3. 在任期間：平成13年4月1日就任～平成17年3月31日退職
4. 職 務：センターが実施する熱帯又は亜熱帯に属する地域その他開発途上にある海外の地域における農林水産業に関する技術上の試験及び研究、調査、分析、鑑定並びに講習等業務運営の全般について監査し、監査の結果に基づき必要があると認めるときに、理事長又は農林水産大臣に意見すること。

業績勘案率（案）：1.0

業績勘案率（案）の算定に当たり勘案した事項

| | |
|--------------------|---|
| 基本業績勘案率 | 1.0 |
| 法人業績を勘案して加算する率 | 0.0 【当該率とした理由】 監事■■■■■の在職期間における年度業務実績評価は、各事業年度とも「A」評価であったが、年度計画に基づき、その計画の範囲内で、効率化を図りつつ業務の改善等を行ってきたものであることから、加算するには至らないと判断し、率を0.0とした。 |
| 個人業績を勘案して加算（減算）する率 | 0.0 【当該率とした理由】 監事■■■■■は、各事業年度における監査計画書を策定し、センターの業務がその目的を達成するため合理的かつ能率的に運営されているかどうか、会計に関する事務処理が法令その他諸規程に従い適正に行われているかどうかについて、監査を行った。 また、役員会、常任幹部会、運営会議等業務運営に関する重要な会議に出席し、討議内容等が役員会の決議、法令及び諸規程に適合しているか点検するとともに、今中期目標及び中期計画が確実に達成されるよう理事長に意見を提出した。これらは、センターの業務の適正かつ能率的な運営と会計経理の適正化に貢献したが、いずれも年度計画に基づき行われたものであり、今回の評価の対象となる期間（平成16年1月～平成17年3月）において加減算するには至らないと判断し、0.0とした。 |

※別添として、業績勘案率（案）の算定の参考となる資料を添付する。

| 中期目標 | 中期計画 | 年度計画 | 評価指標(◎大項目、○中項目) | 平成15年度 | | | | 備考 |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|--------|------|------|----------|--------|
| | | | | 中項目 | | 大項目 | | |
| | | | | 評価 | 点数 | ウエイト | 評価及びウエイト | |
| 第2 業務運営の効率化に関する事項 | I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためのべき措置 | I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためのべき措置 | ◎ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためのべき措置 | | | | | |
| | | | ○ 評価・点後の実施 | | | | | |
| | | | ○ 研究資源の効率的利用 | A | 1.00 | 1/7 | A | |
| | | | ○ 研究支援の効率化及び充実・高度化 | A | 1.00 | 1/7 | A | |
| | | | ○ 連携、協力の促進 | A | 1.00 | 1/7 | A | 0.093 |
| | | | ○ 管理事務業務の効率化 | A | 1.00 | 1/7 | A | |
| 第3 国民に対して提供するサービス等の質の向上に関する事項 | II 国民に対して提供するサービス等の他業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置 | II 国民に対して提供するサービス等の他業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置 | ◎ 試験及び研究並びに調査 | A | 1.00 | 0.90 | A | |
| | | | ○ 専門研究分野を活かした社会貢献 | A | 1.00 | 0.05 | A | 0.72 |
| | | | ○ 成果の公表、普及の促進 | A | 1.00 | 0.05 | A | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | 0.720 |
| | | | ◎ 予算、収支計画及び資金計画 | | | | B | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | 0.0933 |
| 第4 財務内容の改善に関する事項 | III 予算、収支計画及び資金計画 IV 短期借入金に限度額 V 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 VI 剰余金の使途 | III 予算、収支計画及び資金計画 | ◎ 予算、収支計画及び資金計画 | | | | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | 0.065 |
| | | | ◎ 短期借入金の限度額 | | | | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | |
| | | | ◎ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 | | | | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | |
| 第5 その他業務運営に関する重要事項 | IV その他業務運営に関する重要事項 | IV その他業務運営に関する重要事項 | ◎ その他業務運営で定める業務運営に関する事項 | | | | | |
| | | | ○ 施設及び設備に関する計画 | A | 1.00 | 0.50 | A | 0.093 |
| | | | ○ 人事に関する計画 | A | 1.00 | 0.50 | A | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | 0.093 |
| | | | 各項目のウエイト付けをした評点の合計① | | | | | 0.972 |
| | | | 在職月数② | | | | | 3 |
| | | | | 計③ | | | 3,000 | |
| | | | | 計④ | | | 2,916 | |

基本業績勘案率算出基礎

| 中期目標 | 中期計画 | 年度計画 | 評価指標(◎大項目、○中項目) | 平成16年度 | | | | 備考 |
|--------------------------------------|--|--|--|--------|------|--------|----------|--------|
| | | | | 中項目 | | 大項目 | | |
| | | | | 評価 | ウエイト | ウエイト | 評価及びウエイト | |
| 第2 業務運営の効率化に関する事項 | I 業務運営の効率化に関する目標を達成するための措置 II 国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための措置 | I 業務運営の効率化に関する目標を達成するための措置 II 国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための措置 | ◎ 業務運営の効率化に関する目標を達成するための措置 | | | | | |
| | | | ○ 評価・点検の実施 | A | 1.00 | 1/7 | A | |
| | | | ○ 研究資源の効率的利用 | A | 1.00 | 1/7 | | |
| | | | ○ 研究支援の効率化及び充実・高度化 | A | 1.00 | 1/7 | | |
| | | | ○ 連携、協力の促進 | A | 1.00 | 1/7 | 1.000 | 0.087 |
| | | | ○ 管理事務業務の効率化 | A | 1.00 | 1/7 | | |
| | | | ○ 職員の資質向上 | A | 1.00 | 1/7 | | |
| | | | ○ 海外滞在職員等の安全と健康の確保 | A | 1.00 | 1/7 | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | 0.087 | | |
| | | | ◎ 国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための措置 | | | | A | |
| 第3 国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項 | III 予算、収支計画及び資金計画 IV 短期借入金の限度額 V 重要な財産を確保し、又は担保に供しようとするときは、その計画 VI 剰余金の使途 VII その農林水産省令で定める業務運営に関する事項 | III 予算、収支計画及び資金計画 IV 短期借入金の限度額 V 重要な財産を確保し、又は担保に供しようとするときは、その計画 VI 剰余金の使途 VII その農林水産省令で定める業務運営に関する事項 | ◎ 試験及び研究並びに調査 | A | 1.00 | 0.80 | | |
| | | | ○ 専門研究分野を活かした社会貢献 | A | 1.00 | 0.05 | 1.00 | 0.74 |
| | | | ○ 成果の公表、普及の促進 | A | 1.00 | 0.05 | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | 0.740 | | |
| | | | ◎ 予算、収支計画及び資金計画 | | | | A | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | 0.087 | 1.000 | 0.0867 |
| | | | ◎ 短期借入金の限度額 | | | | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | |
| | | | ◎ 重要な財産を確保し、又は担保に供しようとするときは、その計画 | | | | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | |
| 第4 財務内容の改善に関する事項 | VIII 剰余金の使途 IX その農林水産省令で定める業務運営に関する事項 | VIII 剰余金の使途 IX その農林水産省令で定める業務運営に関する事項 | ◎ 剰余金の使途 | | | | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | | | |
| | | | ◎ その他業務運営で定める業務運営に関する事項 | | | | A | |
| | | | ○ 施設及び設備に関する計画 | A | 1.00 | 0.50 | 1.000 | 0.087 |
| | | | ○ 人事に関する計画 | A | 1.00 | 0.50 | | |
| | | | ウエイト付けをした評点の計 | | | 0.087 | | |
| | | | 各項目のウエイト付けをした評点の合計⑤ | | | 1.000 | | |
| | | | 在職月数⑥ | | | 12 | | |
| | | | ⑥×⑤ | | | 12.000 | | |
| | | | 基本業績勘案率 =(④+⑥)÷(③+⑦) | | | 1.0 | | |

独立行政法人林木育種センター理事長 [REDACTED] の退職手当の算定に係る業績勘案率

平成17年12月21日
独立行政法人林木育種センター

1. 退職者名： [REDACTED]
2. 役職：理事長
3. 在任期間：平成13年4月1日就任～平成17年3月31日退職
4. 職務：独立行政法人林木育種センターを代表し、林木育種事業等に係る中期目標を達成するための中期計画及び年度計画の業務並びに組織運営の総理に関すること。

業績勘案率（案）：1.0

業績勘案率（案）の算定に当たり勘案した事項

| | |
|--------------------|---|
| 基本業績勘案率 | 1.0 |
| 法人業績を勘案して加算する率 | 0.0 【当該率とした理由】 理事長 [REDACTED] の在職期間における当センターの業務の実績に関する評価は、各事業年度とも「A」評価であるが、業務実績の内容は、概ね中期計画及び年度計画に沿ったものであることから当該率とした。 |
| 個人業績を勘案して加算（減算）する率 | 0.0 【当該率とした理由】 理事長 [REDACTED] は、トップマネジメントを発揮してセンターの中期目標を達成するための中期計画及び年度計画に基づく業務を着実に推進するとともに、特に近年患者数が急速に拡大し国民病となった花粉症に対して有効な花粉を全く生産しないスギの緊急調査を決定・指示し、この結果、平成16年度にスギ1400品種の中から当該品種を1品種確認して直ちに公表した。 また、当該品種の原種の都道府県への配布を早期に開始するため、苗木の増殖等に直ちに着手させ、品種確定から約2ヶ月後には原種（穂木）の供給を開始させた。 さらに、近年、東北地方等で新たに被害が拡大しつつあるマツ材線虫病対策に有効なマツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発及び普及の促進を図るため、都道府県と連携した検定作業等の促進やさし木増殖技術の開発に早期に重点的に取り組むことを決定・指示し、この結果、新たな技術の開発等これまで以上の成果が得られた。 以上のように、業務運営等に関して優れたトップマネジメントを発揮したが、これらの業務実績は、概ね中期計画及び年度計画の範囲のものであることから当該率とした。 |

独立行政法人林木育種センター理事 ████████ の退職手当の算定に係る業績勘案率

平成17年12月21日
独立行政法人林木育種センター

1. 退職者名： ████████
2. 役 職： 理事
3. 在任期間： 平成13年4月1日就任～平成17年3月31日退職
4. 職 務： 業務・組織運営の全般について理事長を補佐するとともに、特に調査・研究分野の業務全般を掌理する。

業績勘案率（案）： 1. 0

業績勘案率（案）の算定に当たり勘案した事項

| | |
|--------------------|---|
| 基本業績勘案率 | 1. 0 |
| 法人業績を勘案して加算する率 | 0. 0 |
| | <p>【当該率とした理由】</p> <p>理事 ████████ の在職期間における当センターの業務の実績に関する評価は、各事業年度とも「A」評価であるが、業務実績の内容は、概ね中期計画及び年度計画に沿ったものであることから当該率とした。</p> |
| 個人業績を勘案して加算（減算）する率 | 0. 0 |
| | <p>【当該率とした理由】</p> <p>理事 ████████ は、中期目標を達成するための中期計画及び年度計画に基づいてセンターの業務を着実に推進するとともに、特に競争的資金等外部資金獲得の拡大を図るため、「競争的資金等拡大対策委員会」を新たに設置し、委員長として先頭に立って競争的資金等に関する情報の収集や提供、研究課題の掘り起こし等、職員による積極的な応募等が可能となる環境整備を進めた。</p> <p>この結果、競争的資金への応募数及び受託事業等による外部資金の獲得額が大幅に増加した。</p> <p>また、平成16年度には、国際森林研究機関連合（IUFRO）主催のカラマツ属の育種等に関する国際研究集会の我が国での開催に運営面で積極的に携わり、当センターの研究職員の海外の研究者との交流等を通じた資質向上等に貢献した。</p> <p>以上のように、業務運営の改善等に積極的に貢献してきたが、これらの業務実績は、概ね中期計画及び年度計画の範囲のものであることから当該率とした。</p> |

